

40. 中性線と中性点

$$\dot{I}_a = I [A]$$

$$\dot{I}_b = I \left(-\frac{1}{2} - j\frac{\sqrt{3}}{2} \right) [A]$$

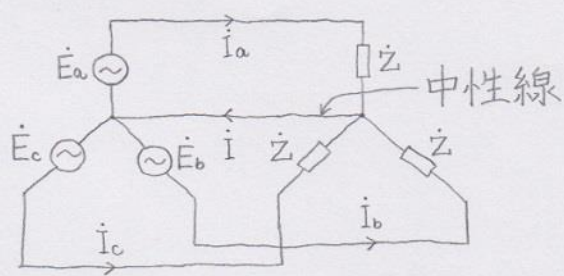
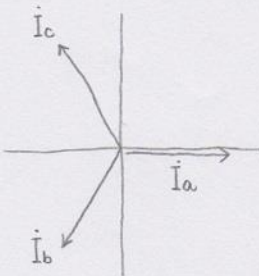
$$\dot{I}_c = I \left(-\frac{1}{2} + j\frac{\sqrt{3}}{2} \right) [A]$$

$$\dot{I}_a = I \cos 0 + j I \sin 0 [A]$$

$$\dot{I}_b = I \cos \frac{2}{3}\pi + j I \sin \frac{2}{3}\pi [A]$$

$$\dot{I}_c = I \cos \frac{4}{3}\pi + j I \sin \frac{4}{3}\pi [A]$$

$$\dot{I} = \dot{I}_a + \dot{I}_b + \dot{I}_c = 0 [A]$$



(三相四線式)

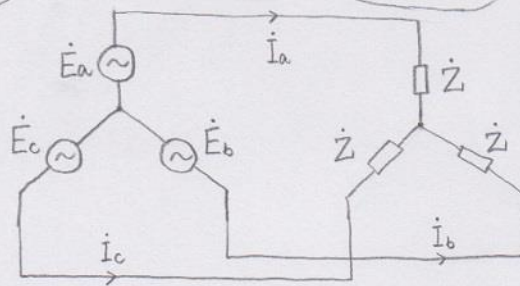
対称三相交流
を上の図のよう
につないで
みよう

すると、三相が平衡
していれば、中性線
に流れる電流は
常にゼロになる

あ、

中性線は
無くて
いへん
かも

線が3本になった！



(三相三線式)

ちなみに、
中性線の
両端を
中性点と
いう

電線を3本にする理由が
少し分かったわ

